

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年12月05日

計画の名称	猪名川町水道事業北部施設統廃合計画（防災・安全）													
計画の期間	令和 0 7 年度 ～ 令和 1 0 年度（4年間）												重点配分対象の該当	
交付対象	猪名川町													
計画の目標	猪名川町総合計画の施策として「安全・安心の水道事業の推進」を目標とし、猪名川町水道事業ビジョンにおける「安全・安心な水づくり～猪名川の水道を次世代へ～」の中で老朽施設の整備を目的とする一つに、 北部施設の老朽施設統廃合計画がある。 また統廃合後は、一部の管路の耐震化や応急給水拠点の強化、自家発電機の設置も併せて図ることで、北部地域全体の水道の基盤の強化を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		1,293	A	1,293	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和7年度	令和9年度	令和10年度
1	【北部地域の配水池の耐震化】既設配水池(北部地域)の耐震化率は0％のため、北部地域の拠点となる旭ヶ丘高区の更新を行い、北部地域の配水池の耐震化率34％を目標値として設定します。			
	【北部地域の配水池耐震化率】 北部地域の配水池の耐震化率＝北部地域の更新（耐震化）容量 / 北部地域の計画容量	0%	17%	34%
2	【北部地域の送水施設の耐震化】既設送水施設(北部地域)の耐震化率は32％であるため、北部地域の送水施設の更新を行い、北部地域の送水施設の耐震化率43％を目標値として設定します。			
	【北部地域の送水施設耐震化率】 北部地域の送水施設の耐震化率＝北部地域の更新（耐震化）送水量 / 北部地域の計画送水量	32%	37%	43%
3	【北部地域の自家発電機設置率】北部地域の自家発電機設置率は8％であるため、北部地域の施設を強化することで、自家発電機設置率24％を目標値として設定します。			
	【北部地域の自家発電機設置率】 北部地域の自家発電機設置率＝北部地域の設置施設数 / 北部地域の計画施設数	8%	11%	24%
4	【北部地域の緊急遮断弁設置率】北部地域の緊急遮断弁設置率は0％で、北部地域の施設を強化することで、緊急遮断弁設置率9％を目標値として設定します。			
	【北部地域の緊急遮断弁設置率】 北部地域の緊急遮断弁設置率＝北部地域の設置施設数 / 北部地域の計画施設数	0%	4%	9%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-001	水道	一般	猪名川町	直接	猪名川町	-	-	北部施設統廃合事業	小規模な配水区域を統廃合し、水道の基盤の強化（廃止施設：7 施設、改造及び補強改良を行う施設：2 施設、新設施設：1 施設）	猪名川町	■	■	■	■		1,245	1.157	-	
	A07-002	水道	一般	猪名川町	直接	猪名川町	-	-	北部施設統廃合事業	北部施設統廃合事業に併せて送水管(耐震管)を整備する必要があったため、新設するもの。	猪名川町	■	■				48	1.157	-	
												小計						1,293		
											合計						1,293			

事前評価チェックシート

計画の名称： 猪名川町水道事業北部施設統廃合計画（防災・安全）

[illegible]